

みんなで育てるみやぎきっ子 ポイント5

本県におきましては、平成23年に策定した「第二次宮崎県教育振興基本計画」の中において、「県民総ぐるみによる教育の推進」を掲げ、学校・家庭・地域や企業・市民団体等が一体となって取り組む教育の推進に取り組んでいます。この具現化のために、これまで、県内各地でそれぞれの地域の様々な立場の方々にお集まりいただき、「地域教育ネットワーク会議」を開催してきました。

本資料は、その会議で出された意見を基にまとめた資料です。一体となって取り組む教育のさらなる推進の一助として各学校・各地域で参考にいただければ幸いです。

ポイント1 こんな子供に育てたいという「目的・目標」を共有化しましょう!

例えば「あいさつが大きな声のできる子供を育てたい。」等、こんな子供に育てたいという思いを、地域全体で共有することから始めましょう。

また、活動のねらいに応じて、学校と地域との役割分担や、支援の内容を明確にすることも大切です。

「地域の子供は地域で育てる」「子供は地域の宝」を基本理念とし、宮崎の未来を担う子供達の育成に、県民総ぐるみで取り組んでいきましょう!



ポイント2 互いの「ニーズや課題」を理解し合いましょう!

「学校はどのような支援を必要としているのか」「地域や保護者、企業はどのような支援ができるのか」「地域や企業は学校に対してどのようなニーズがあるのか」等について、情報交換の場を設定したり、互いに情報発信をしたりすることで、相互理解に努めることが必要です。

また、支援する側にとっても、自己の学びや経験を生かすことは、新たな学びの場になることから、学校を、「子供の学びの場」だけでなく、「大人の学びの場」としてもとらえ、互いに学び合う場としての学校づくりを進めましょう。

ポイント3 「多様な関係者を含むネットワークづくり」を進めましょう!

互いにメリットのある、無理のない相互の支援体制づくりに向けて、いろいろな分野の方とのネットワークを構築していくために、学校においては人材バンクの整備・充実を図る等、年次的に段階をおって、ネットワークの輪を広げていくことが大切です。

日頃からのコミュニケーションを図ることで、相互の「信頼関係づくり」に努めましょう。

ポイント4 「できる時に、できることから」を合言葉に進めましょう!

子供達の成長を願う気持ちは皆同じです。その気持ちを大切に、地域や企業の方々が、参加しやすい学校行事の工夫・改善に努めたり、保護者や学校の職員が、積極的に地域の行事に参加したりすることで、互いに顔や名前を知り合い、絆が深まり、子供達を中心に据えた取組のさらなる充実につながります。

「できる時に、できることから」を合言葉に、「子供のために、わたしも一役」運動の気運を高め、継続できる取組にしていきましょう。

ポイント5 「コーディネートの役割を果たす人材」を発掘・育成しましょう!



学校、地域、企業ともに窓口となる方やコーディネートする方の存在が必要です。特に、担当者一人に負担がかからないように、活動内容や支援内容によって担当を変えたりする等、複数の担当者で対応する等の工夫も大切です。そのような手立ですが、新たな担当者の育成や活動の継続にもつながります。

みんなでみやぎきっ子を育てていきましょう!